

2024年度岡山大学理学部第3年次編入学

試験問題(一般入試)

専門科目

数学

(数学科)

注意事項

- 1 問題冊子は1冊, 解答用紙は4枚, 下書き用紙は4枚です。
- 2 すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
- 3 各問題の解答は, それぞれ指定された解答用紙に記入してください。
- 4 解答用紙のホッチキスは, 外さないでください。
- 5 試験終了後, 問題冊子と下書き用紙は必ず持ち帰ってください

【数学科】

【試験科目：専門科目（数学）】

解答は問題と同じ番号の解答用紙に記入せよ。

1 3次の正方行列

$$A = \begin{pmatrix} -1 & -2 & 1 \\ x & 7 & -3 \\ y & z & -4 \end{pmatrix}$$

について $A^2 = A$ が成り立つとする。以下の問いに答えよ。

- (1) x, y, z の値を求めよ。
- (2) A の固有値をすべて求めよ。
- (3) (2) で求めた各固有値に対する A の固有空間の基底を一組ずつ求めよ。
- (4) A が対角化可能である理由を述べ、 $P^{-1}AP$ が対角行列となるような正則行列 P を一つ求めよ。また、そのときの P^{-1} を求めよ。

2 n を 2 以上の整数とし、 A, B を n 次実正方行列とする。一般に行列 C に対して $\text{rank}(C)$ は C の階数（ランク）を表すものとする。以下の問いに答えよ。

- (1) $\text{rank}(A) = \text{rank}({}^tA)$ である理由を述べよ。ただし、 tA は A の転置行列である。
- (2) AB が正則行列であるとき $\text{rank}(A)$ を求めよ。
- (3) $\text{rank}(AB) \leq \text{rank}(B)$ であることを示せ。
- (4) $\text{rank}(A+B) \leq \text{rank}(A|B) \leq \text{rank}(A) + \text{rank}(B)$ であることを示せ。ただし、 $(A|B)$ は A と B を並べてできる $(n, 2n)$ 行列とする。

3 以下の問いに答えよ。

(1) 関数 $f(x)$ を

$$f(x) = \begin{cases} \frac{x}{e^x - 1} & (x \neq 0) \\ 1 & (x = 0) \end{cases}$$

によって定義するとき、 $f(x)$ が $x = 0$ において微分可能であることを示し、 $f'(0)$ の値を求めよ。

(2) 定積分

$$I_n = \int_0^1 \frac{x^n}{1+x} dx \quad (n = 0, 1, 2, \dots)$$

に対して、 $I_n + I_{n+1}$ の値を求めよ。また、級数

$$\sum_{n=0}^{\infty} \frac{(-1)^n}{n+1} = 1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \dots$$

の値を求めよ。

4 数列 $\{a_n\}$ は $a_n > 0$, $\sum_{n=1}^{\infty} a_n = \infty$ を満たすとし、数列 $\{b_n\}$ は $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_n}{a_n} = c \neq \pm\infty$ を満たすとする。以下の問いに答えよ。

(1) $c = 0$ のとき、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_1 + \dots + b_n}{a_1 + \dots + a_n} = 0$$

となることを示せ。

(2) $c \neq 0$ のとき、

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{b_1 + \dots + b_n}{a_1 + \dots + a_n} = c$$

となることを示せ。

(3) 極限值

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2^1 + 3^2 + \dots + (n+1)^n}{1^1 + 2^2 + \dots + n^n}$$

を求めよ。